

平成 27 年度第 2 回熊野市総合教育会議会議録

1. 日 時 平成 27 年 5 月 28 日（木） 午後 2 時 30 分から
2. 場 所 熊野市役所 2 階 第 1 会議室
3. 出席者 熊野市長 河上敢二
熊野市教育委員会
倉本教育長 大久保委員、新谷委員、小山委員、糸川委員
4. 事務局関係
教育委員会事務局
林総務課長、山本学校教育課長、橋詰社会教育課長
吉井総務課長補佐、太田総務課庶務係長
市長公室
庵前市長公室長
総務課
清嶺地総務課長
5. 事 項
(1) 教育大綱（案）について

林総務課長 定刻になりましたので、ただいまから平成 27 年度第 2 回熊野市総合教育会議を開催いたします。お手元の事項書に沿って進めさせていただきます。

本日の司会進行を務めさせていただきます、教育委員会事務局総務課長の林でございます。よろしく願いいたします。

まず、最初に総合教育会議開催に当たりまして、河上市長から開催のご挨拶をお願いいたします。

河上市長 委員の皆様には、お忙しい中、第 2 回目の総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

1 回目で教育大綱の案について説明をさせていただき、その後、委員の皆さんからのご意見を踏まえて、最終的な案を、今日、ご説明させていただくことになるわけです。

今日、この大綱を皆さんにお受けいただいた後につきましては、教育委員会、学校において、この大きな方針に従って熊野市の教育水準の向上に向けて取り組んでいただくわけですが、毎月の教育委

員会議において、進行管理を行っていただくということでございます。最終的には、この大綱に盛り込まれた中身が、どれだけ実際に現場で展開されているのかといった評価等についても、今後はしっかりとやっていく必要があるのではないかと考えております。

そういう意味では、もう一度年度内に総合教育会議を開かせていただく必要があると考えております。毎月の教育委員会会議に加えて、こういった会議にも出席していただくことになるわけですが、委員の皆様にはお忙しい中恐縮ではございますけれども、引き続き、ご理解、ご協力をいただきますようお願いを申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございます。

林総務課長

ありがとうございました。

それでは、事項書2の(1)教育大綱(案)についてに移らせていただきます。

只今、市長のあいさつにもありましたように、4月16日に開催しました第1回熊野市総合教育会議において、教育大綱(案)を説明させていただきました。

一読してお気づきの点や疑問点などがありましたら教育委員会までご連絡を、ということで教育委員さんからいただいた意見が、大きな点で2つあり、調整をさせていただきました。1つめは、教育大綱(案)の2ページ、2学校教育(義務教育)の学力向上の推進の項目の上から2番目の次に「継続的な読書活動を推進します」という項目を追加させていただきました。黄色で示している項目です。

教育基本方針にもありますように、言語に関する能力をはぐくむには、読書活動が不可欠であるとしており、学力と読書活動との相関関係については、平成25年度に実施した全国学力学習調査の追加調査において、相関関係にあることが明らかにされているところでございます。こういうことから、学力の向上への取り組みの一つとして「継続的な読書活動を推進します」という項目を設けさせていただきました。

今後は、朝の10分間読書や市の図書館との連携等の充実を図り、児童・生徒の読書活動を推進し、学力向上への取り組みを進めてまいりたいと考えております。

2つめは、4ページの、3青少年健全育成(1)子どもの読書活動の推進の項目で、「豊かな心を育むために」という文言を追加させていただき、豊かな心を育むために読書活動を推進します、としました。黄色で示している文言を追加させていただきました。

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、創造力を豊かなものにする上で欠くことのできないものです。家庭、学校、地域

が連携をし、豊かな心を育むためにも、子どもの読書活動を推進していきたくと考えています。

以上、第1回の総合教育会議から追加、修正をさせて頂いた点を説明させていただきました。追加、修正をした点やその他に何かご意見ご質問等ございましたらよろしくお願いたします。

河上市長

今の説明の中で、2ページ目の「継続的な読書活動を推進します」の説明の中で、市の図書館と連携させるというのがでていましたが、具体的にはどういうことを考えていますか。

林総務課長

図書館で行っている「集団貸出」というのがありますが、今は、限られた学校でしか利用されていません。学校にない図書が市の図書館にあることもありますので、その辺をもう少し、連携を深めていって図書貸し出しの増、あるいは読書活動に使っていければと考えております。

河上市長

市の図書館は、人口当たりの蔵書数を県下で一番にするという目的で、毎年2千万円を図書の購入に使っていますので、ぜひ、学校と連携した活用をさらに進めていただければと思います。

小山委員

この大綱は、市民の方にはどのように周知していきますか。

林総務課長

ホームページ等で公開をして、周知していきたくと考えています。

河上市長

全部は難しいかもしれませんが、市の広報でも、総合教育会議を開いて大綱を策定したことを確実に周知していかないといけないと思います。ただ、広報はページが限られていますので、どこまで載せられるかわかりませんが、努力して周知できるようにします。

林総務課長

その他に、ございませんか。

林総務課長

ご意見がないようですので、今、説明をさせていただきました「教育大綱（案）」について、ご承認ということでよろしいでしょうか。

全員

はい。

林総務課長

ありがとうございました。

それでは、事項書3のその他について、委員の皆さんからなにかございませんか。

大久保委員

「大綱」においても、図書の話がたくさん出たわけですが、市長が言われるように、図書館にたくさん予算を使っただいて、蔵書も増えて素晴らしいと思っています。ただ、私たちが外から見ていて、立派な図書館の割には、それを活かすスタッフが忙しすぎて、今は、臨時職員ですが大変だなと思っています。本来であれば、あれだけの規模の図書館であれば、館長がいて、正職の司書がいて、そうすることでこの図書館が活かされてくると思います。財政的な面もあろうかと思いますが。

河上市長 職員の増で対応するのは正直言って、熊野市の行政の規模からすると、少し難しいのかなと思います。民間の皆さんにご協力いただいて、今、図書館ボランティアもあるんですが、司書というレベルになるときちんと雇用する必要があります。それを、市で雇用するのか、違う組織を作ってそこから来てもらうのか、難しいところです。的を得たご指摘ですが。

今、司書の資格を持っている人はいますか。

橋詰社会教育課長 3名のうち、2名が持っています。

河上市長 その司書の人達が忙しすぎると見ていただいているんですね。館長は、橋詰課長ですね。

大久保委員 市の社会教育課長という仕事があって、その中では大変難しいと思います。新宮市でも、尾鷲市でも臨時ですが、専任の館長がおられます。そうしないと、図書館を活かすためのいろんな企画をしたりとか、時間的な面でも無理が出てくるのではないかと感じています。

河上市長 少し考えさせてください。

小山委員 提案ですが、この「大綱」は教育課題を全部網羅していて大変すばらしいと思いますが、これ全部を市民の方に周知していただくのは、窮屈な感じがします。市長自らが、熊野市としての重点課題をあげていただいた方が、皆さんはわかりやすいと思いますが。

河上市長 第1回目の時に申し上げましたが、学力の向上というのは、子ども達が豊かな生活を将来おくっていくとか、子ども達にこの地域を担っていただくためには、おそらく、あらゆることについての基礎だと思っています。だから、学力向上のための取組が、まず必要だと思っています。学校の先生方はこれまでも一生懸命やっただけだと思いますが、それに加えて、やはりもう少し、プラスアルファの手段を講じていかないといけないのかなと感じています。

委員のご指摘で新たに入った「継続的な読書活動」について、先ほど説明を受けたところ、毎朝、短時間、読書の時間を設けている学校もあるけども、していないところもあるということで、こういったことは基本的にはすべての学校でももらえるよう、校長先生に強制的には難しいけれど理解をしてもらう必要がある。

こういう地道なことを、基本的に進めていかない限り、学力の向上は難しいのかなと思う。私はそういったことを言っていきたいと思います。

学力の向上だけというわけではないので、人を思いやる心や体力向上も同じように必要です。

別な話になりますが、熊野市は自然豊かですね。私が小さい頃

には、山の中でカブトムシを捕ったり、小川で魚を捕ったりして生き物と接することがありましたが、熊野市の子ども達って自分たちで自然と触れ合うというか、昆虫捕ったり魚捕ったりする子ども達ってあまり見かけませんよね。カブトムシなんか、ホームセンターで買ってくるんじゃないかと。それだと、都会の子ども達と変わらない。何かそういった機会が作れないかと。これは、教育委員会というか、社会教育というか微妙なところですが。

紀和でも子ども達は山の中に行ったりあまりしていないのでは。

新谷委員

子ども自体が減っていますから。

大久保委員

都会では、子ども達はゲームとかに関心があって、親がそういったことに関心があれば、アウトドア的ないろんな活動の中で体験している子どももいるでしょうが。

河上市長

自分の小さなころは、先輩に明日カブトムシ捕りに行くから朝早く集合しろと言われて、捕りに行く場所を教えてもらっていた。それを、今度は私が下の子に教えていく、この木を触ったらかぶれるとか、そうやっていろんなことを覚えた気がします。

今、新谷委員が言われたように、子どもの数自体が少なくなってきた、子どもの中での社会体験という機会が減ってきているような気がします。ただ、そこまで行政がしていくのかという気がしますし、民間でそういった活動していただいている団体のように、熊野市内でも、そういった活動をしていただける方が出てきていただけると有難いかなという気がします。

倉本教育長

今、お話にあったように、豊かな熊野の自然を活かしきれていない、やっていることは、都会の子どもたちと同じような、ゲームなどの室内での遊びが多いのは事実です。また、縦の繋がり、縦集団というのも今はほとんどなくなってきました。

そういうところにスポットをあてるには、しかなければいけません。どこがしかけるかという、学校であれば地域の力をお借りして、先程お話にもありました「ポンポコ学園」さんのような活動をされているところの力をお借りするとか。そのままでは、今のままですから、なんらかの形でそれぞれの立場で考えていく必要があると思います。

河上市長

学力には直接関係ないことかもしれませんが、自然と触れ合うということは、大切なことだと思います。

新谷委員

これから暖かくなってきて、水辺で遊ぶ機会が多くなってきます。子ども達2～3人がかたまって川で遊ぼうとしているのですが、こちらとしては見ているとマムシがいたらどうするのかと思います。守るという意識があまりなく、サンダル履きに薄いパンツで、藪の

中を通過して川に入っていきます。そういったところは避けるんだ、長靴、長ズボンを履いて行って、川で脱ぐんだといった、自分を守るといった大事なことを、しっかりと僕らが教えてきていないのかなという気がします。

紀和の青少年育成市民会議というのがありますが、以前は、自然観察で瀨峡の方にあるルーミスジミという珍しいシジミチョウを観察しようというようなことをしたりしていました。そういった団体をもっと活用すべきかと。自分の住んでいる町はどうか、マムシにはどう対応するのか、そういった技術的なことが田舎で楽しむためにはぜひ必要だと思います。

河上市長 行政的な取組として進めなければいけないこともありますね。教育委員会だけではなく、執行部、行政側も今日はいますので、課題とさせていただきたいと思います。

林総務課長 今のお話の中にありました、自然に触れ合うといったようなことは、この大綱には直接書かれておりませんが、それらを含めたことを、これからどのようにしていくかというご意見もいただきました。市長も申しあげましたように、行政側としてどのようにしていくかということも検討していく必要があると思っております。

それ以外に何かございませんか。

河上市長 冒頭にも申しあげましたが、この大綱についての評価、その言葉が適切かどうかわかりませんが、それをどのようにするのかまた、教育長の方でいろいろと考えていただきたいと思います。

林総務課長 今後についてですが、今日、この大綱について策定していただきましたので、27年度としてどうであったのか、それを28年度にどのようにして活かしていくのかというようなことで、今年度末にはまた一度、会議を開催していきたいと思っております。また、来年には、28年度をどのようにしていくかということで、会議を開催したいと考えております。また、その際にはよろしく願いいたします。

倉本教育長 少しよろしいでしょうか。教育行政を担う責任者として、思いを少し話させていただきたいと思います。

大綱を策定していただきました。あくまでも大きな枠組みと方向性を示したものであると思います。これを具体的にいろいろな施策に落とししていくために、私の心の中で思っていることは、まずは、子ども達の安全というところが一番大事だと思っています。その次に学力、そして体力の向上、開かれた学校であること、この3点を大事にしていきたいと思っています。

開かれた学校の中で、教育委員会情報や学校の情報をできるだけ

外へ発信していくということを大切にしていきたいと考えています。すでに、教育委員会議の会議録であったり、総合教育会議の議事録等ホームページにあげております。そういったこと一つ一つを大切にしながら、進めていきたいということが私の思いです。

河上市長

確かに、子ども達の安全というのが最初にこないとおかしいですね。

林総務課長

ありがとうございました。

その他のところで、次回の会議は今年度内に1回、来年度早々に会議を開きたいと思います。

本日の事項についてすべて終了となりましたので、平成27年度第2回熊野市総合教育会議を閉会致します。本日はありがとうございました。